

当院で関節リウマチの治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「関節リウマチ患者における骨密度の経時的変化に関する研究」へご協力のお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：腎臓・糖尿病・内分泌内科 林 啓悟

1) 研究の背景および目的

関節リウマチは骨粗鬆症の重要なリスク因子です。近年、関節リウマチ・骨粗鬆症のいずれにおいても治療の選択肢が増え、大きく進歩しています。そこで関節リウマチ患者さんにおける現在の治療環境下での骨密度の経時的な変化を評価し、どのような関節リウマチ患者さんで骨密度が低下しやすいのか、また、関節リウマチや骨粗鬆症の治療内容によって骨密度の経時的変化に違いがあるのかを研究していきます。

2) 研究対象者

2010年1月1日から2023年12月31日の間に岡山大学病院リウマチ膠原病内科において関節リウマチの治療のために通院し、骨密度の検査を受けられた方700名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2029年3月31日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から1週間後

4) 研究方法

当院において関節リウマチの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに骨密度を表す数値とその数値の変化を調べ、骨密度の低下しやすい関節リウマチ患者の特徴を明らかにし、また、関節リウマチの病状や治療、骨粗鬆症の治療との関連について評価を行います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・基本情報：年齢、性別、罹病期間、骨折歴、家族歴、既往歴、飲酒歴、喫煙歴、身長、体重
- ・血液検査・尿検査のデータ
- ・外来問診票に基づく関節リウマチの疾患活動性
- ・処方された薬剤の内容
- ・骨密度

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学腎・免疫・内分泌代謝内科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、

その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究資金と利益相反

この研究の実施に際しては特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科

氏名：林 啓悟

電話：086-235-7235（平日：8時30分～17時30分）